

ご 挨拶

会 長 長 瀧 重 信

このたび第 27 回日本核医学会総会を長崎市で開催致すことになり、身に余る光栄と、会員の皆様から頂きましたアンケートに沿って教室の全力をあげて準備させて頂きました。本年は 615 題もの演題の申し込みがございましたので、講演会場として長崎市公会堂、市民会館および福祉会館など隣りあわせた 3 つの建物に 10 会場を使用致します。また時間の関係から会長講演、特別講演などはすべてシンポジウムに組み入れることに致しました。

それぞれのシンポジウムについてご紹介する余裕はございませんが、外国からの招待講演者もシンポジストとして講演のみならず日本の科学者と一緒に十分に討論に参加して頂くことに致しました。なお各演者は母国語で発表し、同時通訳も用意しております。教育講演はシンポジウムと重ならないように 6 つの分野を選び、斯界の権威の先生方をお願い致しました。

一般演題は臓器別、方法別にできるだけご希望どおりに整理し、各分野でトピックとしてまとめられるものは、8 つのワークショップとして関連の一般演題の会場で行います。

Work in Progress は放射性医薬品のご紹介もかねて市民会館の同じ会場で行いますが、機器の展示会場はバスで 5 分位のところに準備致しました。広い会場ですので是非お立ち寄り下さるようお願い申し上げます。

プログラム委員の先生方には、ご多忙のところを本当に細かくプログラム作製にご協力頂き、感謝に耐えません。厚く御礼申し上げます。

長崎は、西洋のみならず中国に対しても江戸時代に開かれていた唯一の港であり、中国情緒も長崎の特徴の一つであります。会員懇親会は中国ムードに統一し、有名な「龍踊り」を公会堂でお楽しみ頂き、その後、これも珍しくなった市電に乗って中華料理をお楽しみに移動して頂く予定です。

総会以外にも異国情緒の町，西洋医学発祥の地，さらに原子爆弾の被災地として，長崎市は
 ご来訪頂く意義のある町と存じます。会員の皆様には長崎市・長崎県も十分にご理解頂きます
 ようお願い申し上げます。

最後に本学会開催に当たり，長崎県，長崎市から多大のご援助を頂きましたことに御礼申し
 上げます。

第27回 日本核医学会総会 プログラム委員会

委員 長 長 瀧 重 信
 委員

油野民雄	井沢豊春	和泉元衛	一矢有
今枝孟義	宇野公一	上村和夫	内山 曉
越智宏暢	小山田日吉丸	奥村 寛	奥山 武雄
鴛海良彦	川上憲司	木下博史	楠本 征夫
久保敦司	小路敏彦	小島正治	佐々木 康人
三枝健二	嶋岡勝太郎	舘野之男	玉木 長良
中條政敬	西村恒彦	菱田豊彦	星 博昭
細田四郎	本保善一郎	町田豊平	松本 政典
森田誠一郎	森田陸司	山岸嘉彦	山崎 統四郎
横山 陽	渡辺克司		

(敬称略，会員名簿五十音順)